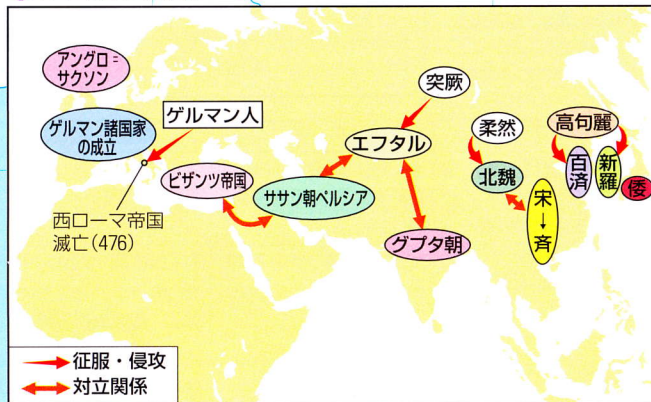


● 5世紀の概観



- ①東アジアでは北魏が華北を統一
- ②ヨーロッパではゲルマン諸族の国家建設が進行。西ローマ帝国滅亡
- ③中央アジアではエフタルが強大化(ササン朝ペルシア・グプタ朝に大打撃を与えた)

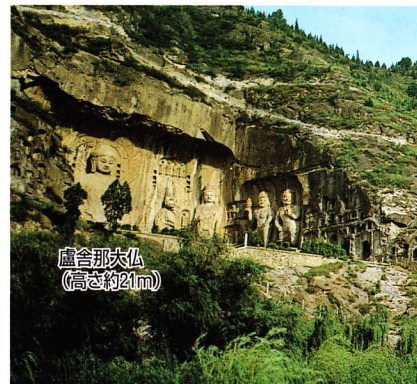
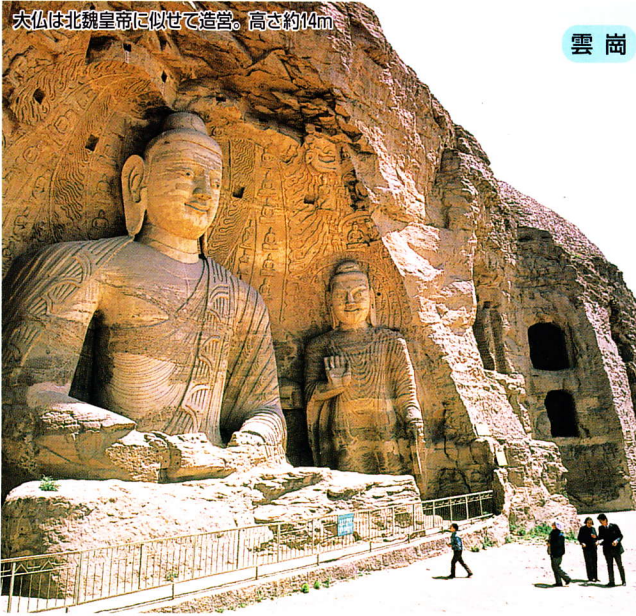
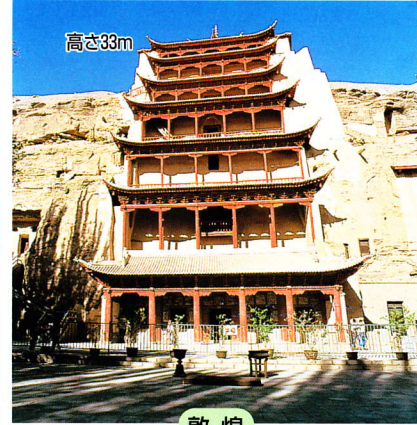
世紀	西アジア	中東	北アジア	東アジア	南アジア	東洋
4	ローマ帝国	ローマ帝国	フン	北魏	グプタ朝	古墳時代
5	西ローマ帝国	ビザンツ帝国	エフタル	北魏	グプタ朝	古墳時代
6	西ゴート王国	ビザンツ帝国	エフタル	北魏	グプタ朝	古墳時代

0 500 1000km

1 中国の三大石窟寺院



石窟	場所	造営の時期	特徴
敦煌	甘肃省西北端 敦煌市の南東 17km	4~14世紀 (北魏~元代)	●鳴沙山東側の断崖1.6kmに渡り、約500の石窟(千仏洞)、2100体余の塑像と壁画(釈迦の行業・西方浄土のようすが多い)がある ●インドのアジャンター石窟・アフガニスタンのパーミヤン石窟の流れをくみ、西域的な色彩が豊か(←西域人や漢人の寄進)
雲崗	山西省平城 (大同)の西 15km	5~6世紀 (北魏)	●太武帝の死後、仏教信者の文帝が即位(「仏教の護持者」=皇帝)。仏僧曇曜の指揮で、勃興する北魏の記念碑として開窟 ●全長1kmの磨崖に53の石窟、5万体的仏像と浮彫がある ●ガンダーラ様式・ Gupta様式(仏像は鼻が高く、インド・ガンダーラ風の衣装をまとう)
龍門	河南省洛陽の 南14km	5~8世紀 (北魏~唐代)	●孝文帝の子で仏教信者の宣武帝が開窟 ●硬質な玄武岩の断崖に菩薩像が中心に彫られている。唐代までに500窟作られた ●流麗な技法。雲崗に比べてややせいで法衣も中国風



- 雲崗の石仏
- 敦煌莫高窟(千仏洞)(上)と窟内の壁画
- 龍門石窟と石仏